

令和7年5月22日

## 令和7年度青梅防犯協会定期総会開催について

青梅防犯協会（会長高橋正）は5月19日16時より霞共益会館で令和7年度青梅防犯協会定期総会を、青梅警察署長末次健次様、青梅市長代理市民安全部市民安全課長大串学様、奥多摩町副町長井上栄一様をはじめ多くご来賓の皆様、役員皆様のご出席により開催した。

【挨拶】高橋会長より、昨年は第九方面本部防犯連絡会議を青梅で開催するなど本部内防犯協会と連携し活動をした。警察署、役員の皆様のご協力により大きな事件、事故もなく活動ができたが、コロナ明けの社会情勢の変化のなかで刑法犯は788件と前年を大きく上回った。特殊詐欺被害額は3倍の9,165万円、自転車盗も258件と99件増となった。特殊詐欺の7割が国際電話であり国際電話不取扱申込、自転車盗については防犯カメラ設置等を要望するなど、盗難防止キャンペーンに取り組んだ事などを報告した。

【議事】(1) 令和6年度事業報告（井上忠男副会長）、(2) 令和6年度決算報告および監査報告（中村廣吉会計理事、小峰将史監事）、(3) 令和7年度事業計画（塩野仁史副会長）、(4) 令和7年度収支予算（小花紀彦会計理事）、(5) 役員改選（数野国明副会長）より報告し、すべての議案が承認された

高橋正会長が「東京で一番な安全なまち、青梅、奥多摩を実現したい」、「特別会員の増員」を総会の席で訴え、協力をお願いした。

